



農業を 新しく始めよう。

**Shunan Agriculture
Start Guide**



周南市

就農を考えているみなさんへ

仕事を辞める前に、もう一度考え、ご家族で話し合しましょう。

check 1 農業は甘くない

- 農業は生計が成り立つまでに、時には数年かかることがあります。その間の生活費の確保が必要です。
- 農業は様々な技術を必要とし、体力と気力を必要とする仕事です。
- 農業を成功させるには、家族の同意と協力が必要です。
- 無農薬や有機農業は高度な知識とその土地ごとの農業経験が必要で、周囲の農家の同意も必要です。

check 2 経営者としての自覚(自営就農の場合)

- 新たに農業を始めることは、初期投資が必要で、既存の生産基盤のある農家より難易度が高まります。
- 資本(機械、施設等)・労力(雇用)・販路の確保、それらの管理(マネジメント)などの経営力が必要で、経営者としての責務が発生します。
- 各種支援の補助金は国民・市民の貴重な税金でなされるものです。活用される場合は、みなさんの支援で農業に挑んでいることを自覚し、事業目的に合致しない場合や、必要な事務を怠る場合は補助金返還もありうることを認識してください。

check 3 農村の暮らしは自然と地域住民との中で

- 農村は豊かな自然、静かな住環境がありますが、都市部のような便利さはありません。
- 農村の暮らしは住民の助け合いで成立します。地域活動やコミュニケーションで地域に馴染む必要があります。

? 自分は農業に向いているのかな? と思ったときは...

周南市のホームページで、「新規就農適正・知識チェックシート」を公開しています。ぜひご家庭でチェックしてみてください。

お住まいの市町でも、就農体験や農業体験が行われている場合があります。ぜひ参加してみてください。



周南市 HP

おためし農業体験

周南市は、就農を検討する方向けに農業体験を実施しています。市内の農家さんのもとで行いますので、栽培だけでなく、本市の気候・風土・地域の人からもふれてみるができます。

期間は3~6日程度。希望の日程で体験できます。体験料は無料。(保険は自己負担にてご用意ください)

県外からなら旅費1/2補助や、宿泊代、レンタカー代の割引が受けられます。(3万円限度、県YY!ターン支援交通費補助金・YY!ターンパスポート活用、いずれも予算範囲内)

トマト、わさび、いちご、ほうれんそうなど多様な作目で受入可能。



さまざまな就農スタイル

農業は取り組み方でいくつかのスタイルに分かれます。あなたが取り組みたい“農業”はどんなものでしょうか。

農業がしたい、作物を育てたい、田舎暮らしがしたい。



農業を仕事にしたい。農業だけで生計を立てたい。

YES

NO

自分の理想とする農園を作り、経営したい。

YES

NO

田舎暮らし・半農半X・家庭菜園

小さな農業を副業にしたり、趣味として楽しんだりするタイプ

小さな規模なので、小さい初期投資で取り組むことができます。市民農園を活用すれば都市部に住んでいても取り組みますが、趣味や楽しみの要素が大きく、十分な収入を見込むことは難しいです。



独立自営就農

自らの農園を開設し、経営者として農業に取り組むタイプ

一定の初期投資が必要になるほか、経営者としての責任が求められますが、自身が思い描く農園の実現を目指すことができます。また、農業未経験の場合は、農業大学校などで知識・技術を身につける必要があります。



法人就業

農業法人に就き、雇用人として農業に取り組むタイプ

働きながら技術や知識を身につけ、法人で経験を積んだあとに独立自営就農を目指すこともできます。法人就業を希望される場合は、就農相談会やハローワーク、民間就農サイト等を通じて農業法人へご相談ください。



就農までの流れ

周南市は「本気で農業を始めたい方」を応援します。
就農にあたっての課題解決のため、周南市ではパッケージで応援します。



STEP1 相談・体験

- ・就農相談会や窓口で就農相談します。就農に関する情報収集や、先輩就農者のアドバイスを聞く等します。
- ・農業体験に参加し、自分が本当に農業に向いているか、周南市で暮らしていけるか体験してみます。
- ・県やJA等の関係機関を含めて、就農相談を重ね、目指す経営の形や、必要な就農支援を具体化します。



STEP3 技術研修・就農準備

- ・農業経営に必要な知識等を、フルタイムの就農前研修で修得していくとともに、農地確保などの準備を進めていきます。
- ・就農後5年間の具体的な経営内容や資金調達方法を考え、就農計画を作成し、認定審査を受けます(認定新規就農者)。

最長2年間の研修でバッチリ技術を修得!

1年目

やまぐち就農支援塾担い手養成研修
山口県立農業大学校で、実践的な栽培技術や経営に必要な知識、農業に必要な資格等を修得します。

2年目

先進農家での現地研修
山口県認定の指導農家の元で、実際の営農規模での農業経営のノウハウを修得します。

周南市は就農準備を支援します!



農地の確保

農業委員会等と連携し、営農に適した農地を斡旋。



機械・施設の整備

機械・施設の導入支援や、JA等のリース。



住居の確保

空き家情報バンク等により遊休家屋を斡旋。

STEP2 就農を決意

- ・農業はご家族の理解や協力が不可欠です。しっかり将来について話し合ってください。就農を決意してください。
- ・研修開始に向け、面接等の審査を受験してください。



STEP4 就農・就業

- ・修了後、必要な農機や資材、種苗等を調達し、就農計画に基づいて経営を開始します。
- ・就農後も市や県、JAによるフォローアップをします。(技術指導、経営指導、研修、田舎暮らしのお困りごと相談等)
- ・農業者の仲間づくりのため、若手農業者団体に参加することができます。(Meets、4Hクラブ等)



各種補助事業・助成金

種類	事業・制度名	内容	助成期間等	対象者※
機械・施設	経営発展支援事業(国・山口県)	就農後の経営発展のための、機械・施設等導入の補助。	事業費の3/4以内、補助金限度額750万円 ※ただし、経営開始資金と併用の場合は補助金限度額375万円	就農時49歳以下の認定新規就農者
	地域農業資源リノベーション(山口県・周南市)	遊休資産を利活用するために必要な改修費等の補助。	事業費の最大1/3を補助	認定新規就農者、認定農業者等
	新規就業者等産地拡大促進事業(山口県・周南市)	新規就農者への機械・施設のJAによるリース。	事業費の最大2/3を補助	市が指定する作目のみ 認定新規就農者等
資金	就農準備資金(国・山口県)	県が認める研修機関等の研修生に対する資金の助成。	150万円/年、最長2年間	就農時49歳以下の研修生
	経営開始資金(国・周南市)	新たに経営を開始する方に対する資金の助成。	150万円/年、最長3年間	就農時49歳以下の認定新規就農者
	青年等就農資金(株式会社日本政策金融公庫)	就農に必要な施設・機械等の取得資金や経営初期の運転資金の融資。	貸付限度額3,700万円、5年間据え置き	認定新規就農者

※採択基準や支援内容は、申請時の関係例規、予算の状況によって異なります。詳しくは市担当者へご相談ください。

周南市の主な農産物マップ

温暖な瀬戸内海沿岸から冷涼な山間地域まで幅広い自然環境のもと、水稻を中心に「トマト、いちご、ほうれんそう、なす、わさび」などの野菜や「ぶどう、なし」などの果樹も生産されています。



畑わさび
涼しい気候を好み、鹿野などで昔ながらの林間畑や無加温ハウスで栽培されています。



ほうれんそう
涼しい気候を好み、鹿野や熊毛北部などで、周年栽培されています。



北部



ぶどう・なし
果樹団地を形成している須金で、観光農園を主として栽培されています。



西部



なす
暖かい気候と日差しを好み、熊毛などで露地栽培されています。



東部



トマト
暖かい気候と日差しを好み、夏秋用が北部の無加温ハウスで、冬春用が南部の加温ハウスで栽培されています。



いちご
涼しい気候と日差しを好み、熊毛などの加温ハウスで栽培されています。

独立自営就農「作型の例」

経営収支試算(参考) ※条件により変動

夏秋トマト(ハウス)-15a			露地なす-10a			いちご(ハウス)-25a		
収入	支出	所得	収入	支出	所得	収入	支出	所得
479万円	294万円	185万円	262万円	130万円	132万円	1500万円	1269万円	231万円
・労働力は本人とパート雇用者1名で計算 ・おすすめの組み合わせ品目は「わさび」「ほうれんそう」等			・労働力は本人のみの条件で計算 ・おすすめの組み合わせ品目は「ほうれんそう」「プロッコリー」等			・労働力は本人と家族1名、臨時雇用2名の条件で計算 ・収穫期間が約6か月で、育苗も含めて年間を通して仕事がある		



先輩就農者インタビュー

- 1 就農をめざすきっかけ 2 将来の目標 3 就農を目指す方へのメッセージ

令和2年就農 | 水稻、大豆等 | 廣林 政憲さん、祐樹さん [親元就農]

- (政憲さん) 民間企業で働いていましたが、生まれ育った土地で、地元の人とふれあいながら農地を守りたいと考え、就農しました。自分らしく働ける「農業」で地元へ貢献したいですね。また、親子三代で農業をすることが夢だったので、息子の就農を嬉しく思います。
(祐樹さん) 祖父母が年をとって農業が難しくなるので、自分がいつか助けたいと考えていました。また、家族で話し合いをしていたこともあって、親元就農を決めました。
- (政憲さん) 健康第一で、地元へ密着して仕事をやることは楽しく、そして嬉しく感じています。私たち家族で立ち上げた「ファーム穂稀」を広めて、周南のみんなに知ってもらいたいです。
- (政憲さん) 農業は頑張るほど儲かりますが、逆に頑張らなければダメ。販売も工夫が大切です。これからの農業を引っ張る人、ぜひ一緒にやりましょう!
(祐樹さん) 自分がやりたい作物が大切です。農業大学校で、自分に適した作物を見つけ、楽しく学びましょう!



平成21年就農 | 水稻、大豆、麦

(農)ファームつるの里 代表 森次 高志さん [法人就業]

- 24歳のとき、バックパッカー旅行で、農的暮らしに興味をもったことがきっかけです。ファームつるの里に就業し、翌年古民家購入、移住、結婚、子ども誕生まで至りました。その後、従業員から理事になり、2022年からは代表理事となりました。
- 八代のナベツルと人に優しい農業を理念として品質の向上に努めました。みなさんに美味しいと思ってもらえるお米を作りたいです。就農して、より食や環境に興味を湧いて健康に気をつけています。自分で育てたお米を家族と食べるときはとくに嬉しいです。
- 農業は地域・人・気持ちが大切だと考えています。15年この3つを大事に農業をやってきて、辞めたいと思った事は一度もありません。きっかけは何でも良いと思います。是非、農業を始めてみましょう。

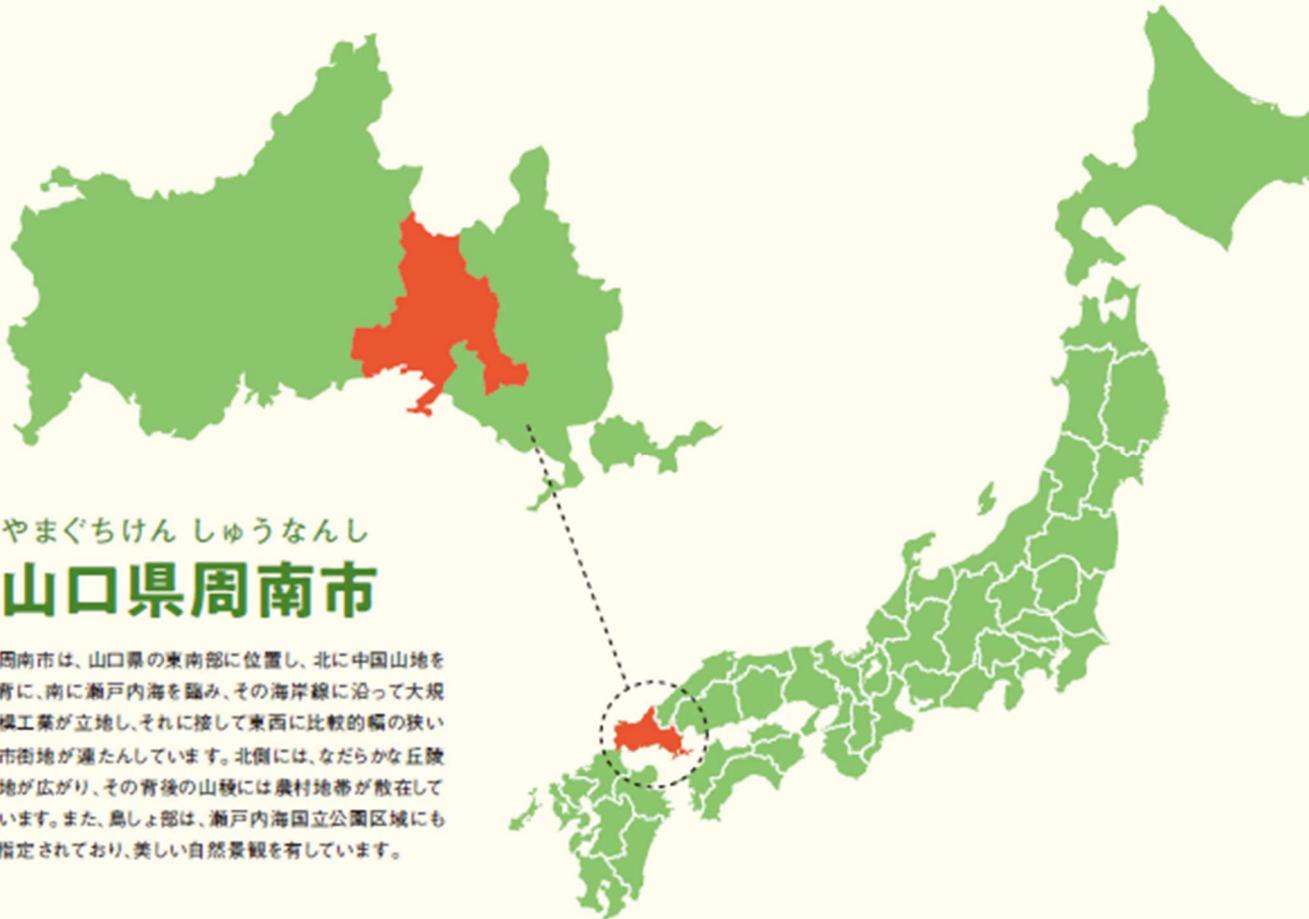


令和5年就農 | ぶどう、なし

日の出農園 藤村 龍平さん、明日実さん [農園継承]

- きっかけは、自分の人生を振り返ってみる時間ができたことです。自然とふれあい、夢中になる時間が一番好きな時間だということに気が付き、その環境の中で仕事したいと思いつき就農を目指しました。
- 就農して、近隣農家さんとのつながりがとても大切だと感じました。初年とはとにかく不安だらけで相談できる相手がいることは心強いです。将来は自社ワイナリーでワインを造り、県産食材と合わせて山口の新しい食文化の一助となるのが私たち夫婦の目標です。
- 就農は、地域に根付くことなので、就農前に地域のイベントに参加したり農家と話したりして、地域や人と合うか、農業の相談ができる人がいるかが、自分の農業ライフを楽しくするうえで重要な要素の一つです。農業は常に学ぶことばかりです。作物も自分も育む仕事です。まずは就農したいと思う場所の環境を知って、楽しい農業ライフを目指しましょう!





やまぐちけん しゅうなんし

山口県周南市

周南市は、山口県の東南部に位置し、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を臨み、その海岸線に沿って大規模工業が立地し、それに接して東西に比較的幅の狭い市街地が連たんしています。北側には、なだらかな丘陵地が広がり、その背後の山稜には農村地帯が散在しています。また、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有しています。

<http://www.city.shunan.lg.jp>

就農に関するお問い合わせ

周南市役所 産業振興部 農業振興課

〒745-8655 山口県周南市岐山通 1 丁目 1 番地

TEL (0834) 22-8356 | FAX (0834) 22-8375

mail : noshin@city.shunan.lg.jp

関係機関一覧

山口県周南農林水産事務所

TEL 0834-33-6456

周南市農業委員会事務局

TEL 0834-22-8574

JA山口県周南統括本部 指導販売課

TEL 0833-45-6011

公益財団やまぐち農林振興公社

TEL 0835-28-7598